

議 長 確認印	
------------	--

議会運営委員会会議録

1、開会の日時 閉 会	平成 30 年 3 月 14 日 14 : 20 平成 30 年 3 月 14 日 14 : 37
2、場 所	委員会室
3、出席した委員	割貝寿一、小林達信、鈴木安次、鈴木 茂、吉田克則
4、欠席した委員	なし
5、出席を要求した者	副議長
6、職務のため出席した者	議長、 事務局長、書記
7、付議事件	第 1 定例会の検証について
8、議事の経過	<p>小林達信副委員長が開会 割貝寿一委員長あいさつ 第 1 定例会の検証について 委員長：定例会の検証を行う。区分ごとに行う。 委員長：会期についてはどうか。 （召集時期、会期の設定は適切か、十分な審議はできたか。ともに問題なし） 委員長：1 日目、2 日目についてはどうか。 （諸般の報告、議案説明は適切か。ともに問題なし） 委員長：3 日目、4 日目（一般質問）についてはどうか。 （質問）</p> <ul style="list-style-type: none">・質問は通告内容からはずれていなかったか。 （OK）・一般質問の準備は十分だったか。 （まあまあ）・議員として適切な質問か。（品位を疑われる発言はなかったか。） （OK）・通告時間は適切だったか。 （問題なし）・質問が要望やお願いになっていなかったか。 （少しあった。） <p>（答弁）</p> <ul style="list-style-type: none">・質問に対して適切な答弁だったか。 （適切でない答弁もあった。かみ合わない部分もあった。）・十分準備したうえでの答弁だったか。 （再質問に対しての答弁が準備不足） <p>委員長：9 日目についてはどうか。 （議案審議）</p> <ul style="list-style-type: none">・審議は十分尽くされたか。 （OK）・議題外の質疑はなかったか。 （OK）・質疑が自己の意見になっていなかったか。 （予算常任委員会で一部あった。発言の訂正部分。）・3 回以内に簡潔にまとめて質問したか。 （問題ない）・答弁は適切か。 （まち振興課が一部適切でなかった。）

・分かりやすい答弁だったか。 (まち振興課以外はOK)

委員長：全体について何かあるか。

小林委員：予算決算常任委員会で町長でなければ答えられない質問に対し町長に答弁を求めてきたが、町長から今後は事前通告でお願いしたいと申し入れがあった。予算について町長がすべて理解しているものとする。なお、議運で諮ると回答したため今回議運で協議願いたい。

鈴木安次委員：私の質問は町長に対して通告している。町長はすべて理解しているものと私は思っている。

小林委員：特に難しいことは聞いてないと思う。

鈴木茂委員：議案審議の答弁が通告してもらわないとできないというのは問題である。

小林委員：今まで通り町長に答弁を求める時は委員長判断でやることを議運で決定したと町長に伝える。

鈴木安次委員：本当はすべてを町長が答弁しなければならない。課長は説明員である。町長は自分が説明しなければならないという意識がない。

小林委員：課長は説明しかできない。方針については町長が答弁することであるため町長に求めている。今まで通りでよいか。

(異議なし)

委員長：今まで通りとする。吉田(広)議員が前もって総務課長と打ち合わせをすることで一般質問の時間内に収まると言っていたが、議員それぞれ違うので統一することはできない。

吉田(克)委員：町に対しての資料請求は事務局を通してすることが先例としてあるので指摘するべき。

委員長：議員個人が直接担当課等に資料請求しているケースがある。

吉田(克)委員：予算決算常任委員会で不適切な発言があった。

委員長：資料の訂正が多すぎるので再度議長より申し入れしてもらおう。

(異議なし)

吉田(克)委員：傍聴者のアンケートは合計で4人なのか。

事務局：アンケートを提出した人数であり、傍聴者の人数は10人位いた。

吉田(克)委員：アンケートで「町長の答弁は、検討していきたい。・・・したいと思えます。等である。結果を知りたい。」となっているが、どういう意味か。

議長：検討した結果を知りたいということではないか。

鈴木茂委員：議会だよりの追跡レポートに掲載するのはどうか。

委員長：これはアンケートなので議会だよりでこのようなアンケート内容があったことを掲載すればいい。

委員長：他に検証についてあるか。

(なし)

委員長：以上で議事を終了する。

副委員長閉会

埜町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

議会運営委員長